

## 『むさしの未来』会派結成趣意書

### 前文

私たちは、今を生きる市民と次世代のために、政策実現集団として研究・研鑽・議論をつくり、武蔵野市のまちと市民の暮らしの発展に全力を尽くします。

### ◎ 3つの理念

- ◆ 新時代の武蔵野市の未来の「まちづくり、人のつながり」を目指します。
- ◆ 市政における政策・事業の組み立ては、「持続可能な視野」に立って取り組みます。
- ◆ 議論・討論を深めるために、多様な立場、異なる考え方を尊重し合います。

### ◎ 3つのスローガン

- ◆ 公正
- ◆ 公平
- ◆ 公開

### ◎ 4つの目標

- ◆ だれもが安心して暮らし続けられる福祉と教育・文化のまちづくりに努めます。
- ◆ 真の市民参加・協働と産業振興のまちづくりを実現します。
- ◆ 私たちは、市民と共に創る開かれた議会改革に努めます。
- ◆ 持続可能な都市再生と、環境に配慮したインフラの再整備を実現します。

### ◎ 4つの政策

- ◆ 市民のみなさんと共に、勉強会、研修会、講演会、語る会を開催し、「支えられ感」のある福祉・教育・文化のまちづくりを目指します。
- ◆ 市民のみなさんと共に、武蔵野の未来を築き、まちの発展・活性化を図るための条件整備を図ります。
- ◆ 市民のみなさんと共に創る市政を実現するために、「議会活動報告会」「ご要望ご意見ヒアリング会」等、双方向の語る会を開催し、市民にわかりやすく開かれた議会づくりを目指し、二元代表制の一翼である議会の活性化を目指します。
- ◆ 次世代へのかけはしとして、緑・水循環といった環境保全を重視し、上下水道をはじめとする持続可能な都市基盤整備再編を実現します。

◎ 3つの視点

- ◆ 「現場第一主義」—調査なくして政策なし、机上の議論ではなく逸早く現場に赴きます。
- ◆ 「公平で大局観に立ち課題を見渡す」—対立する双方向の意見を聞き、多様な立場と異なる考え方を尊重します。
- ◆ 「結果を求める」—必ず一定の前進と具体的な成果を目指します。

◎ 「会派の中での」 3つのルール

- ◆ 議案に対する認識が共有できるように、多様な意見をたたかわせ、合意形成により一つの結論を導き出すよう、議論を重ねます。なお最終的に賛否の態度が分かれる場合は、それぞれの政治的立場や見解を尊重します。
- ◆ 討論などの意見表明は、議員固有の権利として認めあい、調整に努めます。
- ◆ 私たちは、理念に基づき上記の目標を達成するために、協力・協働して政策実現を目指します。

以上

平成23年5月6日

小美濃安弘

西園寺みきこ

深田貴美子

前田秀樹

(あいうえお順)